



あなたの未来に笑顔と元気を！

# スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report 2021年新春号

〒982-0804 仙台市太白区鉤取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245  
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

東日本大震災から10年となる2021年の幕が明けました。コロナ感染拡大は長期化しており、まだ収束が見えない状況です。今なお医療従事者はじめ市民生活に欠かせない現場で従事して下さっている皆様に感謝申し上げます。

この度、昨年(2020年)の第4回定例会等での議会質問や要望活動等のご報告として「さとう和子スマイル通信2021年新春号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いです。コロナ感染対策の補正予算審議のため第1回臨時会(1月5日)が開会。一日も早い終息を祈り、ワクチン接種の万全な体制はじめコロナ感染対策、安心安全な市民生活、そして復興に全力で取り組んでまいります。

2021年1月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

## 不妊・不育症支援が大きく前進します！ 実現

- ◆不妊治療の助成が拡充！  
令和4年度には保険適用が実現へ！
- ◆不育症の検査費助成制度が創設！



晩婚化などで不妊に悩む男女が増え、5.5組に1組の夫婦が経験しているといわれる不妊治療。流産・死産を繰り返す不育症については患者数は約140万人に上ります。国において公明党が長年取り組んできた不妊・不育症支援が令和2年度第3次補正予算・令和3年度予算案に計上されました。私は平成24年3月予算等審査特別委員会において不育症支援を初めて取り上げて以来、少子化対策の大事な取り組みであり、子どもを産みたい女性へ希望を届けたいとの思いで粘り強く何度も訴えてきました。昨年の第4回定例会の一般質問で「国の拡充を受けて、さらなる不妊症の支援に力を入れていただきたい。不育症については検査費助成の制度設計にしっかり取り組んでいただき、国の後押しと同時に治療費については、仙台市独自に上乗せをして支援していただきたい」と発言。「国の助成制度に合わせ迅速に対応できるように準備を進めてまいります。不育症については、国の制度に合わせ、速やかに対応してまいります」との答弁がありました。これからも不育症患者の希望の光となる支援に全力で取り組んでまいります。



11月30日、「多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク」は郡市長と佐々木教育長に、不登校の児童・生徒を持つ県内の保護者を対象に行なった「不登校4,000人アンケート報告書」と県内のフリースクール等の「みやぎ子ども居場所マップ」を届け、不登校対策の強化を求めました。公明党仙台市議団が同席させていただきました。

12月25日、公明党仙台市議団は、第8次となる「新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する緊急要望書」を郡市長に提出しました。感染第3波を受けての防止対策と医療体制強化、更なる経済支援については、感染防止対策奨励金の要件緩和し第2弾を検討することなど15項目を要望しました。





## ◆◆ 一般質問 ◆◆

(令和2年12月14日)

### ◆◆ 地域交通への感染防止対策の支援について

**質問：**青葉区新川地区の「ハツ森号」(昨年8月から試験運行中)、令和3年1月18日から試験運行される太白区秋保地区の「ぐるりんあきう」、4月には宮城野区燕沢地区の「のりあい・つばめ」が本格運行にこぎつけた。コロナ禍での大変厳しいスタートとなる。安心して利用していただけるよう、車両の抗ウイルス加工にかかる経費の支援をしてはいかがか。



**答弁：**車両への抗菌対策など、さらなる感染防止対策については、地域の皆様や運行事業者、関係団体からのご意見も伺いながら、今後とも安心して地域交通を利用していただけるよう、必要な対応について検討してまいります。

### ◆◆ 高齢者等の住まいを支援する「新たな住宅セーフティネット制度」の取り組みについて

**質問：**民間賃貸住宅への円滑な入居促進を図るため、住宅情報の提供・相談・見守りなどの生活支援を実施する県指定の居住支援法人の周知の工夫と強化が必要。また、住まいの相談専用ダイヤルの設置や住まい情報の集約したホームページを作成し、市民が利用しやすくすべき。

**答弁：**認知度の向上に向け、更なる工夫が必要と認識している。居住者や所有者、高齢者や子育て世帯など、情報を探す方それぞれの視点を大事にした、分かりやすい情報整理や情報発信の使い分けが必要と考えており、他都市の事例も参考にしながら、効果的な情報提供の在り方を検討してまいります。

### ◆◆ 第135号議案(将監複合施設新築工事)に関連して、大規模改修を迎える生出市民センターの整備について

(令和2年12月9日 公明党仙台市議団の代表質疑での発言)

**質問：**複合施設という整備手法は、まちづくりの観点として重要であり、地域の拠点化、地域活性化、住民の利便性向上につながるものである。現在、生出市民センターは生出診療所と保健センターが併設。地元からは地域懇談会等で生出老人憩いの家の合築を求めのお声や保護者からは長年、児童館設置の要望が寄せられている。近年、生出地域は土地区画整理事業で商業施設や住宅が立ち並び町が一変。人口の増加も予想され、市民センターを中心とした整備が大変重要となる。今回の将監モデルのように、丁寧に地元住民の要望を伺い協議を重ね進めていただきたい。

**答弁：**生出地域において施設の複合化を視野に取組を進めている。公共施設の立地状況を踏まえ、市民センターや保健センター、老人憩いの家等の複合化について、財政負担を抑えながら、市民サービスを維持向上できるよう、地域のご意見を伺っているところであり、生出地域の活性化についても十分留意しながら着実に事業を進めてまいります。

### ◆◆ その他の主な質問項目

- 消毒作業の労力や人員の確保の負担軽減につながる抗ウイルス加工について、コロナ感染防止対策の強化として、児童館などの児童福祉施設での活用
- セーフティネット住宅(入居を拒まない住宅)について、登録の充実促進、関係機関への情報提供や連携強化、空き家物件を活用する取り組み
- 子宮頸がんワクチン定期接種の個別通知による情報提供について
- 不育症の精神的サポート、「みやぎ・せんだい不妊・不育専門相談センター」の利用状況とさらなる相談体制の強化



# ◆◆ 経済環境委員会 ◆◆

(令和2年12月16日)



## ◆◆ 感染防止対策奨励金について

要件を満たしている申請不備の事業者に対して、確実に年内支給できるよう対応していただきたい。課題として、わかりやすい申請書の書式の工夫、スマホやパソコン等ネットで情報を得られない方々へテレビの活用で周知を強化すべき。



## 皆さまの声をカタチにしました！

日本伝統文化である茶室。太白区大年寺山公園内にある「仙庵」「茂ヶ崎庵」が昨年7月から一般公開となり、「仙台旅先体験コレクション」の体験プログラムに加わりました。

精巧を極めた数寄屋造りの「仙庵」は茶道裏千家14代家元、千嘉代子さんが仙台市名誉市民になられたことを記念して昭和44年に仙台市に寄贈されたもの。平成29年3月予算等審査特別委員会で利用実績が年間数回程度で一般公開されておらず利用が限定されていたことから、観光利用や市民への周知強化を求めていたものです。



今年の一般公開 2月28日・3月28日 予約なし

12月20日一般公開参加

## 昨年11月5日に開設した仙台市総合コールセンター「杜の都おしえてコール」を視察

平成26年、公明党仙台市議団では、コールセンターを導入していた政令都市16都市を調査。札幌市・さいたま市・京都市・大阪市については現地調査を行ない、年中無休・夜間対応「窓口のワンストップサービス」を求めて同年の第1回定例会で取り上げました。

(12月2日)



## ■「避難所における障害のある方への配慮の手引き」「新しい生活様式に基づく地域活動の手引き」ができました。



## ■ 令和元年台風19号の被害から日本平35・36付近の冠水対策としてグレーチングの設置



## ■ 泉崎2丁目3付近のL字側溝の整備



## ■ 西の平2丁目38付近の側溝蓋の修繕

## ■ 鉤取八幡公園・鉤取寺西公園の民家に支障をきたしている樹木や朽木の伐採



# 視察・活動

- 11月12日、「仙台赤十字病院の移転等を行わないよう宮城県知事に対し強く求める要望書」「仙台赤十字病院の現地存続を求める要望書」を提出しました。



- 12月18日、全国小規模保育協議会仙台支部、仙台小規模保育協議会の皆様と郡市長に「小規模保育施設利用者の「先行利用調整」早期導入要望書」を5,620名の署名簿を添えて提出。公明党仙台市議団が同席させていただきました。

- 市政施行131周年記念式参加

(10月27日)

- 共に考えよう「子どもたちの多様な学びと不登校施策」シンポジウム参加

(11月11日)

- 震災直後から親を亡くし、傷ついた子どもに心に寄り添う活動を続けている仙台レインボーハウスを視察

(11月13日)

不登校対策としてモデル校の中田中学校の在籍学級外教室「ステーション」の成果と課題を視察

(12月2日)

ステーションとは「駅」のことです。駅には様々な人が集まります。その人にはそれぞれ目的地があります。目的地に着くためにいったん足を止める場所。それがステーションです。目的地にたどり着くための方法の一つではありません。各駅停車でゆっくり景色を眺め、駅弁を楽しみながら行くこともあります。快速や急行で少し早く目的地に着くこともできます。それぞれ自分の方法を選びたいのです。

教室の入り口に掲示されています

- 開業から5周年を迎えた仙台うみの杜水族館の事業状況、コロナ禍の影響、仙台市との連携など今後の課題の視察調査

(12月12日)

- フードバンク仙台のコロナ禍における食糧支援の活動状況や課題などを意見聴取

- 郡山折立線(鈎取工区)鈎取4丁目交差点に関する意見交換会

(12月23日)



(12月21日)

- 中央卸売市場の花・水産・青果・関連事業者・食肉の業務開始式参加

(令和3年1月4日~5日)

